

国語総合（５単位）

教材すべてに記名すること。教科書の使い方を理解すること。この指示を読んで理解して実行すること。

「国語総合」の目標を参考に、高等学校の学びを考え、以下の課題に通じて学びを深めること。

国語総合

国語総合

1 目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。（「高等学校学習指導要領」平成21年3月 文部科学省 より）

1.現代文分野（２単位）

（１）教科書を「読む」。

教科書掲載順に毎週一作品を読み、さらに「単元学習」を行うこと。「単元」は「評論一」や「小説一」などのように目次にも書かれている。

「単元学習」なので、作品単体だけではなく、単元全体で考えを深めること。

4月6日～ 「はじめに」「境目」

13日～ 「評論一」「バラは暗闇でも赤いか？」

20日～ 「評論一」「トロンボーンを吹く女学生」

27日～ 「評論一」「デジタル社会」

5月4日～ 「評論一」のまとめ

学習の流れ 1 本文を読む。

初見の読解（まとめ・感想）をノートに書く。（その段階の自身の読解レベルの記録）

2 語句の意味調べや漢字学習など、ノートなどを活用して基礎的な語彙力を高める。

3 本文の下にある問い（脚問）の答えを教科書余白に記入してみる。

4 各作品の最後に学習の道標（「予習」「構成」「読解」「表現」など）があるので、ノートにまとめる。

5 単元を通じて「ものの見方、感じ方、考え方を豊か」にすること。

（２）パーフェクト常用漢字を毎日1回分ずつ学習する。（学習習慣の確立）

春課題に引き続き、5級第22回まで学習をすすめ、終わったら繰り返す。定着させること。

2.古典分野（３単位）

（１）教科書を「音読」する。

1.『宇治拾遺物語』「児のそら寝」

2.『宇治拾遺物語』「絵仏師良秀」

3.『十訓抄』「大江山」

4.『竹取物語』「かぐや姫」誕生

よどみなく、すらすらと読めるまで練習すること。

（２）文法学習

1.「体系古典文法」（数研出版）を春課題のやり方に引き続き、29ページまで学習すること。

2.上記の定着を確認するため、「体系古典文法 学習ノート」を13ページまで解いて確認すること。

（３）古文単語

「核心古文単語351」（尚文出版）第一章（76ページまで）を読み、単語帳の使い方を理解すること。